



いのちの水 生きている川

～みんなの手で、かながわの水を守り、育て、つなげよう～

このリーフレットでは、県内各地の小・中学校における川や池、水を題材にした学習の実践例を紹介しています。川や池には多くの生き物が生活し、それらは私たちの生活を豊かにするとともに、潤いを与えてくれています。学校や地域での自然の観察や生き物の飼育などを通して、生き物の誕生や成長、生命の大切さについて学んでいきましょう。

また、自然の仕組みの素晴らしさを知るとともに、私たちのいのちの源である、水について調べたり、限りある水資源を大切に守っていくことについて考えたりしていきましょう。

ペットボトルでメダカを育てよう！

5年生の全児童（63人）が、一人一つずつペットボトル（2L）の水槽をつくり、ヒメダカの飼育と観察を行いました。休み時間になると、理科室にやってきて、水を替えたり観察したりと、愛着をもってお世話をしています。子メダカの誕生も見ることができ、有意義な学習になりました。

（小田原市立足柄小学校）

ホタルを飛ばそうプロジェクト

学校の近くには、湧き水が出ている「ほたる田」と呼ばれる場があり、子どもたちがたくさん生き物や植物とふれあう大切な学びと遊びの場になっています。以前はホタルのたくさん飛び交う姿が見られましたが、近年はなかなか難しくなりました。4年生は「ホタルを飛ばそうプロジェクト」を立ち上げました。ほたる田の調査では、ザリガニや川エビが多く生息しており、ホタルの幼虫が食べられてしまうため、ホタルの生息には適さないことがわかりました。7月には体長およそ1mmのホタルの幼虫を傷つけないように優しく放流しました。

また、近くの川の生き物調査では、地域の生き物名人を招いて、生き物の特徴やつかまえ方などの説明を受け、タモロコ、アブラハヤ、オイカワ、ドジョウ、ナマズ、モクズガニなど、10種類以上を見つけました。水質検査では、ほたる田の水はとてもきれいで、川の水のほうが少し汚れていることがわかりました。

学習を通して、生き物にとってすみやすい環境は、水質や川底の様子や隠れやすい場所があるかなど、さまざまなことが関係しているとわかりました。6月には、2頭のホタルが舞う様子を確かめることができました。

（小田原市立千代小学校）



ほたる田の生き物調査



ホタルの幼虫の放流

酒匂川たんけん隊

4年生は酒匂川に目を向け、豊富な動植物などを通して自然の魅力にふれる中で、地域に対する愛着や地域社会の一員としての自覚を高められるような学習を展開しています。

5月から9月にかけて、4回の調査に出かけました。子どもたちは川遊びの経験が少なく、川に入るだけで楽しさを感じていました。魚・水生生物・鳥・植物・石など、一人ひとりの興味や関心から調査の内容が焦点化され、事前に図鑑やインターネットを使って入念な調べ学習をしてから川に出かけるようになりました。調べたものを実際に採集したり観察したりしたいという意欲が高まり、見つけた時には大きな喜びがありました。

学習の成果を11月の学校公開日に発表しました。模造紙を使ったポスターセッション・紙芝居・劇・クイズ・体験活動（石を使った遊び・魚釣り）コーナーなど、さまざまな方法で、他学年の子どもたちや保護者、地域の人たちに向けて成果を発信しました。

社会科では酒匂川の治水の歴史について学び、400年前には、氾濫による大きな被害を受けたり、土手の修復に多大なる労力を費やしていたりしたことを知り、先人たちの労苦が現在の足柄平野の農業を中心とする産業の発展につながっていることにも目を向けました。

現在も400年前と同じように護岸工事が行われていることが過去とのつながりを示す事実です。今を生きる自分たちにも何かできることはないか、子どもたちと一緒に考えていきたいです。



魚や水生生物の調査



石の観察、採集



学校公開日に発信

おおいちょうりつおおいしょうがっこう
(大井町立大井小学校)

ビオトープで生き物発見！

本校の周辺は、野花や昆虫などに触れ合える自然の多い地域ですが、子どもたちが安全に遊べる池や川はなく、水辺の生き物と関わる機会は少ないです。校内の花壇の一部をビオトープにして、5年生が中心となってビオトープを活用した学習を行いました。総合的な学習の時間では、水辺や水中の生き物の観察や、生き物を増やす取組をしました。理科の学習では、ビオトープの微生物の観察をしたり、メダカの産卵に必要な水草を確保したりしました。また、卵から育てたメダカをビオトープに放流しました。

ビオトープを通して、メダカやドジョウ、ヌマエビなどの、日頃関わることの少ない生き物を、身近に感じることができるようになりました。

ビオトープがあることで、休み時間には学年を問わず、生き物に興味がある多くの児童が観察に集まっています。

今後もさまざまな学習で活用していくためにも、ビオトープの管理を教員だけでなく、飼育委員会を中心とする子どもたちの活動にして、長期的・継続的に維持をしていきたいです。



ビオトープのようす

かわさきしりつひさすえしょうがっこう
(川崎市立久末小学校)

ザリガニ釣り

1年生は7月に地域の水場である引地川親水公園でザリガニ釣りを行いました。子どもたちは生き物への興味・関心がありますが、水の中の生物に触れる機会は多くはありません。エサを結ぶことができない子どもは、保護者に手伝ってもらいました。

この学習をきっかけに、ザリガニの飼い方を調べたり、休日に家族と親水公園を訪れたりするなど、水の中の生き物に親しむ姿が多く見られるようになりました。

(藤沢市立小糸小学校)



ザリガニ釣り

子どもと地域のためのビオトープづくり

地域と連携し、校内で生物が生まれ、育つ環境をつくる活動に取り組んでいます。ビオトープ管理士の方に指導をいただき、生徒と教員が協働して新しいビオトープをつくり管理をしています。かつて学校周辺には、たくさんのアズマヒキガエルが生息していましたが、最近では徐々に数が減っています。そこで、このビオトープを通して自然繁殖ができる環境づくりを目指す「ヒキガエル復活プロジェクト」を始めました。

1年生の総合的な学習の時間では、4月に自然観察会のボランティアの方を講師として招き、古くからあるビオトープで孵化したアズマヒキガエルのオタマジャクシと、新しいビオトープで育つ様々な生物の観察を行い、その学習の成果を新聞にまとめました。5月には、成体になったアズマヒキガエルが、ビオトープから陸上に出て一斉に歩くようすを観察し、生徒は「命」について考えを深めることができました。

(茅ヶ崎市立西浜中学校)



新ビオトープづくり



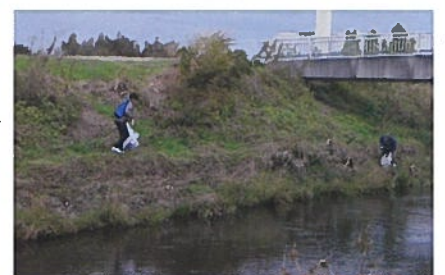
アズマヒキガエルの行進

目久尻川クリーンアップキャンペーン

6月と11月に、目久尻川のクリーンアップキャンペーンにボランティアの生徒を募り、科学部の協力を得て、「グリーンネット宮原」という地域団体の方々と一緒に河川の土手の清掃をしています。毎回100kg前後のゴミを拾い、河川の汚れを防いでいます。ほとんどは上流から流れ着いたビニルや缶、ペットボトルですが、景観を損なうだけでなく、ゴミを捨てやすい雰囲気をつくってしまうことが心配されます。

この活動は、目久尻川をコンクリートの護岸ではなく、いつまでも土のまま多自然型の土手のままで残していくための大切な活動の一つです。現在、ボランティアとして参加をしている生徒の中から、地域の一員として将来この活動を引き継いでくれる生徒が育つことを願っています。

(藤沢市立御所見中学校)



河川の土手の清掃

わたしたちの海『汐小前』での学び

2年生は、学校の目の前の『汐小前』の海岸で、かながわ海岸美化財団の協力をいただいて、ビーチコーミングやビーチクリーンなどの活動を行っています。

また、高学年を担当する理科専科の教員に協力してもらい、双眼実体顕微鏡を使って海岸の砂を観察し、相模川上流から運ばれてきた砂の鉱物などを観察しました。

真鶴町の三ツ石海岸での校外学習では、つかまえた生物について、NPO法人「海の学校」の方から説明をしてもらいました。実際の砂や生物に触れ、それらを専門家に説明してもらうことで、さらに学びを深めることができました。子どもたちは生物の多様性を肌で学び、学んだことを絵で表現しました。

(茅ヶ崎市立汐見台小学校)



海岸での学習



学習の成果を絵で表現

水はどこから ～浄水場・ダムの見学～

社会科見学の一環として、寒川浄水場と宮ヶ瀬ダムの見学をしました。水をきれいにする仕組みや、ダムや水源林の役割について学びました。また、同じ水系を学んだことで、水道水を無駄なく使おうとする意識が高まりました。

水の仕事に従事している人や、上流の水域に住む人たちの願いを調べたり、自然界での水の浄化作用等について学んだりする機会をつくっていきたいです。

(藤沢市立善行小学校)



宮ヶ瀬ダムの見学

「しぜんとなかよし」

1年生は、学校の目の前にある茅ヶ崎西浜海岸で、砂の造形活動をしました。グループに分かれて「何を作るか」について話し合いを通して決めて、それぞれのグループが街並み、お城、山などの制作をしました。自分たちが住んでいる地域の海岸で造形活動をすることで、「きれいな海を残したい」「ゴミをなくしたい」という意識が高まりました。また、保護者の方々に、海岸で造形活動をする子どもたちの安全を見守ってもらったり、砂をかためる海水を運んでもらったりしました。

(茅ヶ崎市立西浜小学校)



海岸での造形活動①



海岸での造形活動②



海岸での造形活動③